

水が育んだ文化

～武蔵野の台地と低地に暮らす～

※富士見市の歴史文化を特徴づけるテーマを設定し、その歴史・文化資産の一例を紹介합니다。

⑤砂川樋管【建造物】

新河岸川改修に伴い、昭和2年(1927)に築造されたコンクリート製の建造物です。

⑥カワセミ【生物】

きれいな水辺で見られる「水辺の宝石」と称される鳥です。「市の鳥」に認定されています。

⑦難波田城公園【旧跡】

中世に南畑を本拠として活躍した難波田氏の居城跡で、県旧跡に指定されています。また、園内には市指定の旧大澤家住宅・旧金子家住宅が移築されています。

⑧鶴河岸跡の水神【石造物】

江戸時代に船乗りの守り神として大杉神社を祀ったと言われています。

⑨水子貝塚公園【史跡】

縄文時代前期の環状集落で、国史跡に指定されています。隣接する資料館には県指定の獣面装飾付土器など市内から出土した資料が数多く展示されています。

①お舟山【旧跡・伝承】

榛名大権現が鉄の舟に乗り、この地についてという榛名神社創立にまつわる伝承があります。

②雲居の滝と弁天社【湧水・景観】

上鶴馬氷川神社境内にある豊富な水量をほこる湧水地と弁財天を祀る祠です。

③鶴瀬駅開設の碑【石造物】

大正3年(1914)の東上線鶴瀬駅の開設を記念して建てられた石碑です。

④お井戸【湧水・景観】

性蓮寺の脇にある水量豊かな湧水地と弁財天を祀る祠です。

